

令和元年度 公益社団法人全国大学体育連合 事業報告

I. 概要（常務理事会活動）

昨年指定された日本学術会議協力学術研究団体としての活動を積極的に展開した。

また、大学スポーツに関する研究も増えたことから、研究フォーラムと研究誌の名称を「大学体育スポーツ研究フォーラム」「大学体育スポーツ学研究」に変更したが、それぞれの充実に向けて検討を重ねてきた。

研修面では、例年同様に全国と支部で研修会を14回開催し、研修精励賞2名を表彰した。

関係団体との連携事業として、ワールドマスターズゲームズ2021関西組織委員会との連携協定を結んでおり、2021年に向けた話し合いをもった。

日本プロゴルフ協会・ゴルフ市場活性化委員会との3者連携の一環として、日本ゴルフ用品協会から引き続きクラブの無償提供を受け、複数の大学に多数のクラブを配布した。

外部資金の獲得と経費節減、組織運営の効率的な向上に取り組んだ結果、収支が改善し、記念事業などの準備資金を積み立てることができた。

II. 詳細

II-1 【公益目的事業】

1. 公1：大学教育及びその他の高等教育における体育・スポーツ、保健教育に関する調査や研究を支援、助成し、優秀な調査や研究、教育、FD活動を推進する事業

(1) 助成事業（事業種類09）

1) 大学体育研究助成：調査部

令和元年度研究助成審査

（結果）3件（一般課題2件、特定課題1件）

1. 研究代表者：北村勝朗（日本大学）

研究課題：科学とアートの融合教育（STEAM教育）の視点から捉える大学体育の新たな位置づけ：STEAMS教育（Science, Technology, Engineering, Arts, Mathematics and Sport）の提案

助成金額：182,000円

2. 研究代表者：難波秀行（日本大学）

研究課題：大学生を対象としたWEBを用いた身体活動測定システムによる大規模活動測定

助成金額：200,000円

3. 研究代表者：西脇雅人（大阪工業大学）

研究課題：大学初年次体育授業の教育効果は、高年次にキャリアオーバーされるか：大規模縦断観研究

助成金額：200,000円

(2) 表彰事業（事業種類01）

1) FD推進校制度：FD推進部

FD推進校制度2部門の募集を実施したが、応募校がなかったため、表彰はなかった。

2) 大学体育優秀論文賞：大学体育学編集委員会

大学体育優秀論文賞として以下を表彰および決定した。

中原雄一・西脇雅人・藤本敏彦・池田孝博、「大学体育における実技と講義の同時受講が大学生の健康度・生活習慣に与える影響」、大学体育スポーツ学研究 第16号, pp.13-18（2019年3月発行）

3) 大学体育研修精励賞：研修部

研修精励賞として大室康平氏（八戸工業大学）、重藤誠市郎氏（個人会員）を決定した。決定した。

4) 大学体育優秀教員賞：FD推進部

大学体育優秀教員賞の募集を行ったが、応募はなかった。

5) 大学体育教育賞：総務部

大学体育教育賞として、岡本啓（富山県立大学）、佐伯聡史（富山大学）を決定した。

2. 公2：大学教育及びその他の高等教育における体育・スポーツ、健康・保健教育に関する調査、研究等の資料や情報の収集とその成果を研究会や研修会、講習会、機関誌、情報誌により一般公衆に提供する事業

(1) 研究事業（事業種類 07）

1) 機関誌『大学体育』（113号6月・114号12月）編集・発行：編集出版部

取材・出張（会議・編集に関わる記録作成など）

(1) 第10回指導者養成研修会（日本大学理工学部 船橋キャンパス） 3月1日～3日

(2) 総会（青山学院大学 青山キャンパス） 3月18日

(3) 全国研修会（関東支部：新潟・佐渡） 8月26日～8月29日

2) 研究論文誌『大学体育スポーツ学研究』編集・発行：研究部

(1) 研究論文誌『大学体育スポーツ学研究』第16号の発行（2019年3月）

(2) 研究論文誌『大学体育スポーツ学研究』第16号の編集作業（2020年3月発行予定）

3) 研究集会「第7回大学体育スポーツ研究フォーラム」の開催：研究部

2月20、21日に目白大学新宿キャンパスで開催した。

(2) 研修会事業（事業種類 09）

1) 令和元年度大学体育指導者全国研修会の開催：関東支部・研修部

・期 日：8月26日～28日（3日間）

・会 場：新潟県佐渡市

・後 援：スポーツ庁

・内 容：

<講演会>

講演 福田一儀（至誠館大学）演題『民事再生法適用から13年、定員充足率120%の大学へー大学スポーツを基軸のひとつとした地方大学の運営事例ー』

<実技研修・講師>

①スクーバダイビング 弘中満雄（広島大学）、福田一儀（至誠館大学）

②ゴルフ 松林幸一郎（亜細亜大学准教授）

③バウンドテニス 田中 徹（一般財団法人バウンドテニス協会）

・参加人数：16名（講師・スタッフを除く）

2) 第10回大学体育指導者養成研修会の開催：研修部

・期 日：3月1日～3日（3日間）

・会 場：日本大学理工学部船橋キャンパス

・後 援：スポーツ庁

・内 容：

<基調講演>

演者：北村勝朗（日本大学）演題『大学体育教員としての成長段階と熟達化』

<特別講演>

演者：小林勝法（文教大学）、小谷 究（流通経済大学）演題『大学教養体育教員を目指すためのキャリア開発』

<研修種目・講師>

①フライングディスク・村山光義（慶應義塾大学）

②バスケットボール・小谷 究（流通経済大学）

③バドミントン・吹田真士（筑波大学）

④テニス・梅林 薫（大阪体育大学）

⑤ゴルフ：江原義智（武蔵丘短期大学）、松林幸一郎（亜細亜大学）、高丸功（学習院大学）

<体験種目・講師>

タグラグビー・鈴木秀人（東京学芸大学）、佐藤善人（東京学芸大学）

・参加人数：57名（講師・スタッフを除く）

3) 研修会の実施に要する外部資金調達に関わる活動：研修部

日本スポーツ振興センターくじ助成金を獲得し、指導者養成研修会の運営に活用した。

第10回指導者養成研修会開催分（1,570,000円）も採択済

日本スポーツ振興センターくじ助成金を獲得し、指導者養成研修会の運営に活用した。

4) 第7回スポーツ健康系学科長協議会の開催：渉外部

・期 日：5月18日

・会 場：日本大学理工学部駿河台校舎 131教室

・後 援：スポーツ庁

・内 容：体育・スポーツ・健康系学科や課程が共通してかかえている課題を協議し、大学体育の発展に資することを目的とし、今回は、大学におけるアスリート学生支援に関わる課題をテーマとした。

・参加人数：51名（会員38名、非会員13名）

(3) 調査、資料収集事業（事業種類07、09）

1) 大学体育に関する調査の実施と報告書の作成：調査研究部

大学・短期大学の保健体育教育実態調査を実施した。

2) 日本プロゴルフ協会・ゴルフ市場活性化委員会との3者連携：研修部

・ゴルフクラブ提供 申請大学数13校、合計586本（2019年1月～12月）

3) 日本学術会議から協力学術研究団体の認定：研究部

日本学術会議協力学術研究団体への指定認定申請に対して、3月28日に指定認定された。

4) 日本スポーツ体育健康科学学術連合へ加盟：研究部

日本スポーツ体育健康科学学術連合への入会申請を行い、6月18日に入会手続きが完了した。

5) 関連団体の情報収集と情報発信：渉外部

・健康日本21推進全国連絡協議会の情報収集と情報発信

・健康日本21推進全国連絡協議会関連分科会への出席

・スポーツ・フォー・トゥモロー・コンソーシアムに関する情報のメールニュースによる発信

6) パンフレットのリニューアル：広報部

7) ホームページによる情報発信と管理：広報部

ホームページの管理・更新

月別アクセス数

| 月 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
|----|--------|--------|--------|-------|--------|--------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 更新 | 8 | 5 | 9 | 6 | 7 | 7 | 6 | 5 | 2 | 8 | 14 | 4 |
| 総数 | 8,354 | 7,168 | 7,031 | 6,455 | 6,927 | 6,913 | 7,630 | 6,520 | 4,701 | 5,850 | 6,769 | 5,154 |
| 前年 | 10,232 | 10,802 | 11,004 | 8,841 | 11,298 | 10,541 | 11,408 | 8,546 | 8,400 | 9,817 | 8,362 | 7,186 |

8) メールニュースの定期配信：広報部

配信71件、登録者数1,514人（12月31日現在）

9) 第2回スポーツビジネス産業展への出展：広報部

2月27日～3月1日（千葉・幕張メッセ）

10) 新規会員開拓のための広報活動：広報部

11) 70周年誌の構成案の作成：70周年記念誌編集委員会

1 2) 支部研修会の開催：北海道支部

期 日：8月30日、31日
会 場：ニセコ・ライオンアドベンチャー
内 容：野外活動およびアウトドアスポーツ
講 師：（ニセコ・ライオンアドベンチャー職員）
参加人数：4名

1 3) 支部研修会の開催：東北支部

期 日：3月19日～3月21日
会 場：安比高原スキー場
宿 泊 先：ホテル安比グランド
〒028-7396 岩手県八幡平市安比高原
講 師：鈴木洋律（SAJ ナショナルデモンストレーター）
内 容：①基本を大事にするアルペンスキー指導法、最新のアルペンスキーの技術に関して
②情報交換会：大学におけるスキー実習の取り組みに関して
③実技研修：安比高原スキー場でのアルペンスキー指導実習
参加人数：5名

1 4) 支部研修会の開催：関東支部

1. 「卓球授業における回転系ストロークの技術習得とその指導法の研修会」

期 日：11月30日 15:00～17:00
会 場：国土舘大学世田谷キャンパス10号館5階（旧剣道場）
内 容：卓球（講演・実技研修）
講 師：葛西順一（早稲田大学）

2. 慶應義塾大学体育研究所・（公社）全国大学体育連合関東支部共催シンポジウム

期 日：12月7日 15:00～17:00
会 場：慶應義塾大学日吉キャンパス スポーツ棟2F会議室
内 容：「大学体育教員の育成を考える」

シンポジスト：

高木英樹（筑波大学大学院）、大学体育スポーツ高度化共同専攻が目指すもの
田畑 亨（流通経済大学）、全国大学体育連合における研修制度 過去・現在・未来
鈴木宏哉（順天堂大学）、大学体育教員へのキャリアアップに関する若手研究者の意識

指定討論者：羽田貴史（広島大学）

コーディネーター：村山光義（慶應義塾大学）

1 5) 支部研修会の開催：東海支部

1. 夏期実技研修会

期 日：8月27日
会 場：名城大学 ナゴヤドーム前キャンパス
内 容：スラックライン研修会
①安全なスラックラインの実施について
②スラックラインの技術向上と指導法

参加人数：7名

2. 冬期スノースポーツ研修会

期 日：12月26日～28日
会 場：平湯温泉スキー場・ほおのき平スキー場
宿 泊 先：平湯温泉「平湯プリンスホテル」
〒506-1433岐阜県高山市奥飛驒温泉郷平湯128-6
内 容：①楽しく安全な滑走技術とその指導方法について
②アルペンスキー技術またはスノーボードの最新技術について

参加人数：41名

16) 支部研修会の開催：北陸支部

1. 令和元年度支部研修会

テーマ：大学（一般体育）で学ぶゴルフ

期 日：9月17日～18日

会 場：金沢工業大学天池自然学苑、金沢カントリークラブ

内 容：①「PGAジュニア基本 ゴルフ教本」及び「大学ゴルフ授業教則本」に基づいた実践
②実技研修①の復習および実技ラウンド（コースマネジメント研修）
③「PGAジュニア基本 ゴルフ教本」及び「大学ゴルフ授業教則本」をもとに、大学ゴルフ授業カリキュラムについて学んだ。
④日本及び海外に於けるゴルフの現状について

講 師：井上建夫氏（公益社団法人日本プロゴルフ協会）

参加人数：16名（講師を含む）

2. 北陸体育学会との共同事業（公開シンポジウムの共催）

期 日：1月26日 14:30～16:30

会 場：金沢星稜大学（講堂・アリーナほか）

主 催：北陸体育学会

共 催：（公社）全国大学体育連合北陸支部

講 師：佐伯聡史（富山大学）、木越清信（筑波大学）

内 容：実技指導者研修～鉄棒運動、短距離走～

参加人数：136名

17) 支部研修会の開催：近畿支部

1. 実技研修会

期 日：11月30日

会 場：大阪工業大学 ロボテイクス&デザイン工学部（梅田キャンパス）

内 容：大学体育：人生100年時代に活かすバスキュラーストレッチング講義&実技

講 師：新野弘美（帝塚山学院大学）

2. シンポジウム

期 日：6月8日

会 場：立命館大学茨木キャンパス

内 容：池田敦司（UNIVAS） 「一般社団法人大学スポーツ協会（UNIVAS）創設の理念と展開」
伊坂忠夫（立命館大学） 「一般社団法人大学スポーツコンソーシアムKANSAI（KCAA）の役割と展望」
高田義弘（神戸大学） 「大学における正課及び課外活動としての体育・スポーツの現状と可能性」
講演者3名によるパネルディスカッション 「大学スポーツのこれから」

講 師：藤本淳也 氏（大阪体育大学）

3. 第1回講演会

期 日：11月30日

会 場：大阪工業大学 ロボテイクス&デザイン工学部（梅田キャンパス）

内 容：- 科学的知見に基づく種目別トレーニングの最適化を目指して -

講 師：宮本忠吉（大阪産業大学）

18) 支部研修会の開催：中四国支部

第1回研修会（岡山大学スポーツ支援室との共催）

期 日：5月18日

会 場：岡山大学

内 容：熱中症予防シンポジウム、基調講演 講師 櫻村修生（東京農業大学）、シンポジスト 伊藤武彦（岡山大学）、西脇 舞（元天満屋女子陸上部）、大江加奈（岡山大学ラグロス部）

19) 支部研修会の開催：九州支部

1. 春期研修会「体育・スポーツ・健康に関する教育研究会議」（九州地区大学体育連合との共催）

期 日：3月13日、14日

会 場：神園山荘（〒861-8044 熊本県熊本市東区神園1-10-41）

内 容：シンポジウムや一般発表など

シンポジウムテーマ：大学体育の研究手法～研究の質向上に向けて～

演 者：笹井浩行氏（東京大学）、西田順一氏（近畿大学）

参加人数：42名 一般発表：11名

2. 夏期研修会（九州体育・スポーツ学会合同企画）

期 日：9月1日

会 場：鹿児島大学郡元キャンパス（〒890-8585 鹿児島県鹿児島市郡元1-21-24）

内 容：ラウンドテーブル・ディスカッション

企画テーマ：「教養体育」授業担当資格の認定に向けて

話題提案者：則元志郎（熊本大学）

企画代表者：則元志郎（熊本大学名誉教授）、齊藤篤司（九州大学）

参加人数：18名

2 0）支部による課題研究および研究誌の発行：東海支部

1. 課題研究

第1分科会：幼児期から現在の運動習慣が男子大学生の骨密度に及ぼす影響
—数量化Ⅰ類を用いたカテゴリースコアによる分析—

2. 研究誌の発行

大学保健体育研究：第38号（3月発行）

2 7）支部による研究誌の発行補助：九州支部

『体育・スポーツ教育研究』第20巻1号（12月発行）発刊補助

Ⅱ-2 【法人の管理運営に関わる事項】

1. 会議・運営に関わる事項の記録

(1) 総会、理事会、常務理事会、支部長会

2019（平成31）年 2月 7日 第1回常務理事会

2月 19日 第2回常務理事会、第1回理事会

3月 18日 通常総会

4月 16日 第3回常務理事会

2019（令和元）年 6月 12日 第4回常務理事会

7月 18日 第5回常務理事会

11月 29日 第6回常務理事会

常務理事会メール審議

1月 11～15日，1月 20～26日，4月 2～7日，4月 8～12日，4月 24～30日，

4月 30日～5月 11日，5月 20～24日，10月 15～17日，12月 12～18日

理事会書面決議（第2回理事会の台風での中止により）

10月 21日～11月 1日

(2) 監査：総務部および監事

2019（平成31）年 2月 12日：平成30年度収支決算監査

(3) 事業運営関係記録

1) 内閣府への平成30年度事業報告(含む決算報告)の届け出（3月末日）

2) 事務所および事務の適正な運営

3) 会計処理（税務処理を含む）の執行（公認会計士へ支援を委託）

田畑副部長が会計を担当した。会計士との打ち合わせを1月25日に行った。

- 4) 各支部との連携
- 5) 会員管理
- 6) 定款と諸規則改訂の検討
- 7) 機関誌・報告書のバックナンバー管理
- 8) 役員管理（法務局への手続き等）
- 9) 内閣府への 2020 年度事業計画および予算の届け出（12 月末日）

（4）支部運営記録

- 1) 北海道支部・支部総会
期日：3 月 16 日 会場：札幌国際大学
- 2) 北海道支部・支部運営委員会
期日：3 月 16 日 会場：札幌国際大学
- 4) 東北支部：支部総会
期日：12 月 20 日 会場：岩手大学
- 5) 関東支部：支部運営委員会
期日：4 月 4 日 （テレビ電話会議）
期日：4 月 11 日 （テレビ電話会議）
- 6) 東海支部：支部総会
期日：12 月 14 日 会場：愛知学院大学
- 7) 東海支部：運営委員会
期日：5 月 14 日 メール審議
期日：6 月 1 日 会場：愛知学院大学
期日：12 月 14 日 会場：愛知学院大学
- 8) 北陸支部：支部総会
期日：5 月 21 日～6 月 7 日 メール審議
- 9) 北陸支部：運営委員会
期日：9 月 17 日 会場：金沢工業大学天池自然学苑セミナーハウス
期日：12 月 9 日～20 日 メール審議
- 10) 近畿支部：支部総会
期日：11 月 30 日 会場：大阪工業大学ロボテイクス&デザイン工学部（梅田キャンパス）
- 11) 近畿支部：運営委員会
期日：6 月 8 日 会場：立命館大学茨木キャンパス
期日：11 月 30 日 会場：大阪工業大学ロボテイクス&デザイン工学部（梅田キャンパス）
- 12) 中四国支部：支部総会
期日：12 月 14 日 会場：岡山大学
- 13) 中四国支部：運営委員会
期日：4 月 17 日 会場：岡山大学
期日：5 月 11 日 会場：岡山大学
期日：12 月 7 日 会場：岡山大学
- 14) 九州支部：支部総会
期日：3 月 14 日 会場：神園山荘（〒861-8044 熊本県熊本市東区神園 1-10-41）
- 15) 九州支部：支部運営委員会
期日：3 月 13 日 会場：神園山荘（〒861-8044 熊本県熊本市東区神園 1-10-41）
期日：6 月 2 日 会場：九州産業大学
期日：9 月 1 日 会場：鹿児島大学郡元キャンパス

II-3 【収益事業】

収益事業として視野に入れている図書発行事業について、テーマ及び執筆者等の具体化に向けて検討した。

上記の事業報告に関して、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第 34 条第 3 項に規定されている附属明細書により、その内容を補足すべき重要な事項はありませんので附属明細書は作成していません。

(1) 事務所の業務曜日等

業務曜日：月～金曜日（午前 10 時～午後 4 時）の 5 日間

職員：下野朋子（月～金）、重藤絵美（月、水、金）

(2) 部会・委員会

総務部 1 回（6 月 3 日） 随時メール会議

研修部 随時メール会議

調査部 4 回 随時メール会議

研究部 1 回（9 月 9 日） 随時メール会議

編集・出版部 7 回

広報部 随時メール会議

渉外部 4 回（3 月 18 日、5 月 10 日、5 月 18 日、11 月 22 日） 随時メール会議

70 周年記念誌編集委員会 1 回（11 月 22 日） 随時メール会議

(3) 構成員

1) 総務部

部長：重城 哲（青山学院大学）

副部長：田畑 亨（流通経済大学）

副部長：雪吹 誠（目白大学）

委員：高丸 功（学習院大学）

委員：福士 徳文（慶應義塾大学）

委員：片岡 悠妃（青山学院大学）

委員：山崎 紀春（東京家政大学）

2) 研修部

部長：北 徹朗（武蔵野美術大学）

副部長：西島 壮（首都大学東京）

副部長：石井 秀幸（立教大学）

委員：難波 秀行（日本大学）

委員：橋口 剛夫（帝京科学大学）

委員：浅井 泰詞

委員：小谷 究（流通経済大学）

委員：服部 由季夫（星槎大学）

委員：福士 徳文（慶應義塾大学）

委員：鷺谷 浩輔（千葉商科大学）

委員：菅家沙由梨（目白大学）

委員：山崎紀春（東京家政大学）

3) 調査部

部長：白川 哉子（昭和女子大学）
副部長：竹市 勝（国士舘大学）
委員：吉成 啓子（白百合女子大学）
委員：長谷川千里（東京女子体育大学）

4) 研究部

部長：木内 敦詞（筑波大学）
副部長：西田 順一（近畿大学）
委員：飯田 路佳（十文字学園女子大学）
委員：北 徹朗（武蔵野美術大学）
委員：小林 雄志（岡山大学）
委員：笹井 浩行（東京大学）
委員：佐藤 和（千葉工業大学）
委員：鈴木 久雄（岡山大学）
委員：園部 豊（帝京平成大学）
委員：田原 亮二（名桜大学）
委員：中田 征克（防衛大学校）
委員：中山 正剛（別府大学短期大学部）
委員：難波 秀行（日本大学）
委員：西垣 景太（東海大学）
委員：西原 康行（新潟医療福祉大学）
委員：平工 志穂（東京女子大学）

5) 編集・出版部

部長：羽田 雄一（学習院大学）
副部長：武田 丈太郎（新潟医療福祉大学）
委員：園部 豊（帝京平成大学）
委員：高橋 和将（茨城キリスト教大学）
委員：中島 早苗（共立女子短期大学）
委員：夏原 隆之（東京成徳大学）
委員：山田 盛朗（東京都市大学）

6) 広報部

部長：平工 志穂（東京女子大学）
委員：勝亦陽一（東京農業大学）

7) 渉外部

部長：雪吹 誠（目白大学）
副部長：白土 男女幸
部員：寺田 佳代（国際基督教大学）
部員：中田 賢一
部員：安住 文子（日本大学）
部員：近藤 克之（日本大学）
部員：廣瀬 立朗（桐蔭横浜大学）
部員：中丸 信吾（順天堂大学）

部 員：高橋 和将（茨城キリスト教大学）

部 員：重城 哲（日本大学）

8) 70周年記念誌編集委員会

委 員：小林 勝法（文教大学）

委 員：中田 賢一

以上